

盛り沢山の企画や文化に触れて

—親子ふれあいハイキング—



五月晴れの汗ばむほどの良い天候の中、親子ふれあいハイキングが開催され、親子ら約60人が参加しました。

竜丘の豊かな自然や地域の文化に親子で触れる機会として、竜丘公民館と竜丘地区財産区、里山愛護会の共催で実施されました。昨年末では里山で森林体験をしていましたが、今年は改訂作業が進む「丘のまちしるべ」に掲載のあるウォーキングコースを巡りました。

ノルディックウォークの体験を兼ね、公認指導員からスティックの正しい使い方と歩き方を教わり、公民館を出発しました。塚原二



五月晴れの汗ばむほどの良い天候の中、親子ふれあいハイキングが開催され、親子ら約60人が参加しました。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,938人
男子 3,383人
女子 3,555人
世帯数 2,449戸
(26年4月末現在)

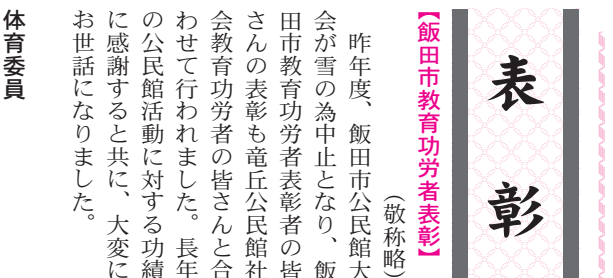
子塚古墳では、古墳の会を中心とした古墳を守り活用する取り組みを聞ききました。白井秘蔵では、黄金の滝を見学し、元気な子ども達は滝壺まで降りていきました。改修された丸太橋を落ちな



みしました。昆虫友の会の松下山から、ギフチョウを守り育ててきた取り組みの様子をお聞きしました。途中、ギフチョウに出会うことができました。

桐林リサイクルセンターで昼食となりました。センターは、「思いやりの心と、ありがたの心が行き交うところ」として、再利用できる物を受入、施設内で展示し、希望者に無料で引き取ってもらっています。昨年は、六千七百十六点がリユースされたそうです。

参加者は、コース途中に

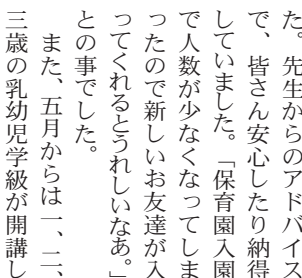


「丘のまちしるべ」には、身近な自然や地域の歴史、文化など分かり易く解説され、モデルコースも掲載されています。「丘のまちしるべ」を片手に、楽しみながら健康づくりに繋がるハイキングをいかがですか。

いように進みました。環境産業公園では、環境アドバイザーの小池さんから、ペットボトルや新聞古紙のリサイクル工場の話を聞き、実際にペットボトルが山に積まれた工場を見学しました。汚れたペットボトルはリサイクルが難しく、綺麗に分別をして欲しいとのことでした。

その後、ギフチョウの繁殖地を、卵を産み付けるヒメカンアオイを踏まないうような注意しながら進みました。

昆虫友の会の松下山から、ギフチョウを守り育ててきた取り組みの様子をお聞きしました。途中、ギフチョウに出会うことができました。



公民館で昼間行われているサークル活動の中に、音楽に合わせて体を動かして楽しむ「リトミック」のサークルがあります。竜丘公民館では「ひよこサークル」と「くまちゃんリトミック」の二つのサークルで多勢の子育て中のお母さん、おばあちゃんと未就園の子供さんが楽しんでいきます。

今回はひよこサークルさんにおじゃましました。音楽に合わせて体を動かしたり、お母さんのひざの上で歌ったり、手遊びをしたり、お

公民館で昼間行われているサークル活動の中に、音楽に合わせて体を動かして楽しむ「リトミック」のサークルがあります。竜丘公民館では「ひよこサークル」と「くまちゃんリトミック」の二つのサークルで多勢の子育て中のお母さん、おばあちゃんと未就園の子供さんが楽しんでいきます。

子育ては多くの人の輪の中で

竜丘乳幼児サークル紹介

絵かきや絵本を読んでもらったり、皆さんとてもリラックスして楽しまれていました。また、「保育園に行く時泣けてしまう」、「人に物を投げてしまう」等のお母さんからの相談がありました。先生からのアドバイスで、皆さん安心して納得していました。「保育園入園で人数が少なくなってしまうので新しいお友達が入ってくるとうれしいなあ。」との事でした。

また、五月からは一、二、三歳の乳幼児学級が開講し

ます。いちご狩りやおやつ作り、救急法講習会など、それぞれの年齢に合わせた計画が組まれています。保育士さんや保健師さんに相談したり、お母さん子供さん同志の交流の場としてぜひ参加してみたいいかがでしょうか。十一月からは〇歳児学級も開講します。年度途中からの参加も可能、受講料は無料です。但し内容により材料費などを頂く場合があります。詳しくは竜丘自治

表彰

【飯田市教育功労者表彰】

昨年度、飯田市民館大会が雪の中止となり、飯田市教育功労者表彰者の皆さんの表彰も竜丘公民館社会教育功労者の皆さんと合わせて行われました。長年の公民館活動に対する功績に感謝すると共に、大変にお世話になりました。

体育委員

橋爪辰彦

(日元年度運営審議委員、H三〇H十九年度広報、H十八〇H二十四年度体育)

広報委員

中田信和

(日元年度文化、H五運営審議委員、H五〇H二十四年度広報)

民俗資料保存委員

河井篤子

(S六十二年度文化、H

育成委員

塩澤隆

(S六十二〇S六十三年度駄駒主事、H七〇H十一年度文化、H十五〇H十八年度運営審議委員、H二十三〇H二十四年度社会・育成)

企画委員

前澤敬司

(H三〇H八年度体育、H十九〇H二十四年度企画委員・時又分館長)

【竜丘公民館社会教育功労者表彰】

(敬称略・順不同)

公民館長

木下和彦

(S六十二〇H元年度

文化委員

玉置一男

(H二十一〇H二十五年度)

体育委員

鈴木運友

(S六十三年度体育委員、H元年度企画委員、H三年度運営審議委員、H六〇H二十五年度体育)

放課後子ども教室

久保田寛人

(H十九〇H二十五年度コーディネーター)

竜丘公民館主事

下平尚志

(H二十一〇H二十四年度主事)

ヤフ呷

近年、無縁社会や孤独死といった問題が取り上げられています。このような問題は、地域福祉システムの欠如による早期発見や早期介入の機能不全から起こります。

しかしながら、高度経済成長を遂げ日本を支えてきたベビーブーム世代は、農業から工業へ・田舎から都会へと移り住み、大家族中心から核家族中心へと変化した。現在の地域福祉の在り方は、昔の家族や地域で支えてきた様相とは異なり、無縁や孤独に直結する重要な問題となっています。

独居老人が増えている問題や老老介護や認知介護といった問題も浮上しており

現行の福祉制度では、住み慣れた地域で当たり前の様に暮らしていくことを目指しています。日本の在宅介護サービスの現状は、家族介護が前提となつていま

在宅での介護が困難な場合は、老人福祉法上の施設への入所を希望する流れとなりますが、そういった施設への入所待機期間は数年間に上る場合があります。この間にバーンアウトを起

こして、自殺などに至るケースも少なくありません。現状、正式な施設数は圧倒的に不足し、早急な施設整備が進められていると思えますが、巨額の建設費が必要となります。

しかも、この大半は社会保障費からの補助金で賄われているのです。

今後の超高齢化社会を支えていくには、いったいどれだけの巨額の税金を投入すれば良いのでしょうか…。

ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり

—今年度の重点活動を語る—

基本構想を 踏まえた活動を！

竜丘地域自治会長
木下 和彦

平成二十六年度は、竜丘地区基本構想を実現していくための初年度の年となります。基本構想を実現するための主な新規事業は次のとおりです。

- 基本構想を実現するためのグループづくり
- 住民自治フォーラムの開催
- 自然エネルギーアクションプログラムの作成
- 環境家計簿による省エネの推進
- 土地利用見直し検討
- 地域ぐるみで地産地消運動を展開・啓発
- 実験圃場による特産物づくり

○児童自由画の保存と顕彰活動（公民館特別委員会として再スタート）などこのほか、各委員会において様々な事業が予定されていますが、実施にあたっては、竜丘地区の皆様方の協力なくしては、実施できません。引き続き、ご協力をお願いいたします。なお、平成二十六年度の区長会における重点的な取り組みを

以下、ご紹介いたします。一、基本構想の進行管理を行います。

二、桐林クリーンセンター稼動に伴う協定の遵守と後利用構想の実現に向けて取り組みます。

三、自主防災組織の充実を図ります。

四、地域の地育力を高めるための連携と強化

五、組合への加入促進を図ります。

六、地域自治会と地域協議会との役割分担の明確及び連携強化を図ります。

七、道路問題等に取り組みます。

住民参加の 重点事業で

公民館長
下平 勝昭

「KOMINKAN」で認知の日本の公民館制度は



竜丘の文化・歴史を次世代に繋げる事業として、人生経験豊富な大人の学校・自由学校等社会教育団体の皆さんに協力を仰ぎ、子育て支援・技術継承・人を育てる環境ができればと考える。特別にはふるさと教材「丘のみちしるべ」改訂を年度内完了、自由画保存顕彰・古墳の会については保存・啓発の息の長い事業となる。事業展開には皆さんの理解と協力常ならむ。

飛んでいるギフチョウを見る会

今年は二月の記録的な大雪にもめげず、ギフチョウの飛ぶ季節、桜の開花時期の四月十二日に、飯田市昆虫友の会の主催、飯田市教育委員会後援の元、ギフチョウを見る会が行なわれた。例年二十名程の参加者が、今年には六十余名の多くの参加があり、主催者側も、受付用紙が足りず、嬉しい悲鳴で始まりました。まずギフチョウとその保護につい

ての説明を聞きました。昭和から平成になる頃から活動を始め、ギフチョウは、平成元年飯田市指定文化財（天然記念物）に指定されました。氷河時代からの「生き化石」とも呼ばれています。竜丘の里山にいる事実体が、我々の自然環境のパロメーターであり、そうした環境を次世代に残していく使命を掲げて保護活動

をされているそうです。当日は天候も良く穏やかな日で、林道の途中途中でギフチョウの姿が見られました。写真撮影をしようとしてもなかなかじつと止まってくれない為、姿を納める事が難しかったです。飛んでいる姿を見る度、参加者のあち



時ヒメカンアオイの移植を手伝ってくれた竜丘小学校の生徒さんたちはもう三十代の若者となり、老人クラブの皆様方を始め多くの地域の方々に見守って頂いて、今の環境に繋がっています。

新委員長

文化委員長

高橋 伸幸



今年度、文化委員長を仰せつかりました桐林上北の高橋伸幸と申します。公民館長、主事はもとより、地域の方々のご協力をいただきながら一年間文化事業に取り組んで参ります。桐林分館の文化部副部长として公民館活動に関わって今年で四年目。公民館の文化事業の流れがようやくわかってきましたが、地域の歴史や文化を探索されている多くのすばらしい先輩方との交流を重ねるたびに、己の未熟さ、力量不足を実感す

る日々です。でも大丈夫！頼もしい仲間達がサポートしてくれそうです。チームワークで頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

体育委員長

金子 至



今年も地域の皆さんに楽しく気持ちの良い汗をかくて頂く為に、体育委員会でも企画・検討をしております。大きな事業としては、五月の夏季スポーツ大会、十二月の冬季スポーツフェスティバル、そして十月の運動会となりますが、小さなお子さんからご年配の方まで、幅広い年齢層の方々に参加していただきやすいように努めて参りたいと考えております。また竜丘地

人事

転入

厚生担当

杉山 圭子



四月から親しみ易き溢れる竜丘でお仕事をさせていただきますことに、嬉しく思っています。初めての厚



生担当ということですが、やりがいも感じています。

地域の皆様の声を大切に、よりよい地域づくりに努め皆様の期待に添えるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

戸籍担当

山川 淳子



この度、りんご庁舎二階

転出の挨拶

大澤 直美

四年間、本当に皆さんの出会いがあり、経験をさせていただきました。温かみのある竜丘で皆様に助けられ支えられ過ごさせていただき、とても良い思い出になりました。本当にありがとうございました。

平成26年度 竜丘地域自治会会計 予算

収入合計 33,699,000円
支出合計 33,699,000円
差引残高 0円

収 入		(単位：円)			
委員会	事業項目	本年度予算	前年度予算	比較	説明
1 地域自治会		33,699,000	35,268,000	△ 1,569,000	
	1 会費収入	15,300,000	15,300,000	0	
	2 パワーアップ交付金A	6,155,000	6,055,000	100,000	飯田市からの交付金
	3 交付金B	2,942,000	3,158,000	△ 216,000	各種補助金
	4 その他 交付金及び補助金（交付金C）	1,298,000	1,097,000	201,000	自治会からの補助
	5 繰越金	7,802,846	9,206,912	△ 1,404,066	前年度繰越金
	6 繰入金	0	0	0	
	7 寄付金	0	0	0	
	8 預金利息	1,154	1,088	66	預金利息
	9 雑収入	200,000	450,000	△ 250,000	イベント謝礼 水辺の楽校運営補助他
	収入合計	33,699,000	35,268,000	△ 1,569,000	

支 出		(単位：円)			
委員会	事業項目	本年度予算	前年度予算	比較	説明
1 区長会		12,178,000	14,698,000	△ 2,520,000	
	1 総務費	8,960,000	9,059,000	△ 99,000	委員報酬他
	2 事業費	3,218,000	5,639,000	△ 2,421,000	諸事業運営費
2 地域振興委員会		5,446,000	4,867,000	579,000	諸事業運営費
3 安全委員会		2,127,000	1,971,000	156,000	
	1 交通安全部会	745,000	616,000	129,000	諸事業運営費
	2 生活安全部会	1,382,000	1,355,000	27,000	諸事業運営費
4 福祉健康委員会		2,899,000	2,942,000	△ 43,000	
	1 地域福祉部会	2,555,000	2,598,000	△ 43,000	諸事業運営費
	2 健康推進部会	344,000	344,000	0	諸事業運営費
5 環境委員会		1,045,000	1,160,000	△ 115,000	諸事業運営費
6 公民館		5,637,000	5,672,000	△ 35,000	
	1 文化委員会	765,000	680,000	85,000	文化祭等事業費
	2 体育委員会	660,000	650,000	10,000	運動会等事業費
	3 広報委員会	465,000	465,000	0	館報発行等事業費
	4 育成委員会	690,000	680,000	10,000	古墳まつり等事業費
	5 民俗資料保存委員会	100,000	595,000	△ 495,000	40周年記念事業費
	6 学級講座他	1,815,000	1,500,000	315,000	分館補助等事業費
	7 公民館管理	1,142,000	1,102,000	40,000	定期清掃等管理費
7 特別委員会		510,000	610,000	△ 100,000	
	1 竜丘古墳の会	410,000	610,000	△ 200,000	諸事業運営費
	2 自由画保存顕彰委員会	100,000	0	100,000	諸事業運営費
8 予備費		3,557,000	2,148,000	1,409,000	
9 積立金		300,000	1,200,000	△ 900,000	道路建設基金、安全委員会 委員貸与品更新用積立ほか
	支出合計	33,699,000	35,268,000	△ 1,569,000	